



御正忌

報恩講

法要

2018
(平成30)年



西本願寺

恩徳讃

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

ほねをくだきても謝すべし

目次

恩徳讃	1
報恩講について	2
ご挨拶〈浄土真宗本願寺派総長 石上 智康〉	3
〈本願寺執行長 本多 隆明〉	4
浄土真宗の教章(私の歩む道)	5
伝灯奉告法要「ご親教」(念仏者の生き方)	7
伝灯奉告法要御満座の消息	9
御正忌報恩講法要全日程表	11
御正忌報恩講法要境内案内図	13
法要日程(9日～16日)	15
お斎	16
御法楽献詠入選歌	20
通夜布教／奉讃演奏会(15日)	24
御正忌報恩講法要期間中の関連行事日程	25
親鸞聖人のご生涯(御絵伝解説)	32
帰敬式	41
免物	42
本願寺よりのご案内	43
日曜レクチャー(日曜講演)／お西さんを知ろう!	43
Shiranu's Day	46
大谷本廟	46
日野誕生院／角坊	47
領解文／報恩講の歌	48
平成30年 本願寺の法要行事日程	49
御正忌報恩講法要期間中の仏華と供物	50

御正忌 報恩講 法要

2018
(平成30年)

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第三代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しくお念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただくことが聖人の御恩に報いる道です。

報恩講は、一月九日から十六日までお勤めいたしております。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜びをこの身に受け、共々にお念仏申しませよう。

御正忌報恩講法要をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長 石上 智康

寒さ厳しいなか、皆さまには、全国各地から「御正忌報恩講法要」にようこそご参拝くださいました。「報恩講法要」は、浄土真宗の教えに導かれ報恩感謝の生活を送る私たちにとって最も大切なご法要です。ご法要をご縁に、改めて宗祖聖人のご遺徳を偲び、浄土真宗のお救いにあわせていたいたいご恩に感謝し、今後ともお念仏の道を歩ませていただきますように。

ご門主様は、ご親教「念仏者の生き方」で、浄土真宗のみ教えを依りどころとしたこれからの生き方をお示しになられ、重ねて「伝灯奉告法要御満座の消息」で「私たち一人ひとりが真実信心をいただき、お慈悲の有り難さ尊さを人々に正しくわかりやすくお伝えすることが基本です。そして同時に、仏さまのような執われない完全に清らかな行いはできなくても、それぞれの場で念仏者の生き方を目指し、精一杯努めさせていただくことが大切です」とご教示になりました。

宗門では、そのお心を体し、具体的な現場化の一つとして、二〇一五年に国連が採択した「SDGs」(持続可能な開発目標)に関するシンポジウムを開催し学びを深めるなど、新たな取り組みを進めようとしております。

貧困をなくそう、安全な水とトイレを世界中に、エネルギーをみんなに、そしてクリーンに。「SDGs」に掲げたどの目標も、地球上の人々が幸せに、しかも、持続可能な社会を創っていく上で、欠くことのできない課題ばかりです。

「我にまかせよ そのまま救う」とはたつき続けていくべき阿弥陀如来のお慈悲ひとすじにこの身をお任せし、安心をいただくとともに、具体的な社会貢献の場でも、世界の人々とともに、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献するため、精いっぱい努めさせていただきますように。

合掌

御正忌報恩講法要に際して

本願寺執行長 本多 隆朗

新年早々、厳しい寒さのなか遠近隔地より「御正忌報恩講法要」にようこそご参拝くださいました。

ご承知の通り、一昨年十月一日から十期八十日間に亘りご修行されました第二十五代専如門主伝灯奉告法要は、昨年五月三十一日に御満座、無事円成いたしました。これもひとえにみ仏のお導きと親鸞聖人並びに歴代宗主のご苦勞をはじめ、多くの皆さまのご懇念の賜と改めて有り難く心より御礼申しあげます。

さて、親鸞聖人は戦乱と天変地異が相次ぎ、多くの人々が世の無常を痛感する平安末期にお生まれになりました。そして、九歳で得度され、比叡山で二十年の間、学問・修行に励まれましたが、迷いを出離する道を見出すことが出来ず、新しい道を求めて下山されました。そして、法然聖人とお出会いによって本願念仏のみ教えに帰依され、お念仏とともに九十年のご生涯を歩まれました。

『歎異抄』には

「念仏者は無礙の二道なり。」

とあり、「阿弥陀仏の本願を信じお念仏申すことは、何ものにも妨げられることのない、生死を超える唯一の大道です。」と示されております。親鸞聖人は、そのご生涯をかけて私たちにこの真実のみ教えをお伝えくださいました。あらためて、ご真影様の前で手を合わせさせていただきながら、苦惱から離れることのできない我が身ですが、お念仏に出遇えたことを大いに喜ばせていただきたいと存じます。

これからも、専如ご門主様が伝灯奉告法要におけるご親教「念仏者の生き方」にてお示しくございました「和顔愛語」を心がけ、自他共に心豊かに生きていくことのできる社会の実現に貢献するために精一杯努めてまいりましょう。

合掌

浄土真宗の教章（私の歩む道）

宗名 浄土真宗

宗祖 親鸞聖人

（開山）

ご誕生 一七三三年五月二十一日

（承安二年四月一日）

ご往生 一二六三年一月十六日

（弘長二年十一月二十八日）

宗派 浄土真宗本願寺派

本山 龍谷山本願寺（西本願寺）

教義 阿弥陀如来の本願力によって信心を

めぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還って人々を教化する。

生活 親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀

如来のみ心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歡喜のうちに、現世祈祷などにたよる

本尊 阿弥陀如来（南無阿弥陀仏）

聖典 ・釈迦如来が説かれた『浄土三部経』

『仏説無量寿経』

『仏説観無量寿経』

『仏説阿弥陀経』

・宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

『正信念仏偈』

（『教行信証』行卷末の偈文）

『浄土和讃』 『高僧和讃』

『正像末和讃』

・中興の祖 蓮如上人のお手紙

『御文章』

宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。

ことなく、御恩報謝の生活を送る。

伝灯奉告法要 ご親教「念仏者の生き方」

仏教は今から約二五〇〇年前、釈尊がさとりを開いて仏陀となられたことに始まります。わが国では、仏教はもとも仏法と呼ばれていました。ここでいう法とは、この世界と私たち人間のありのままの真実ということであり、これは時間と場所を超えた普遍的な真実です。そして、この真実を見抜き、目覚めた人を仏陀といい、私たちに苦悩を超えて生きていく道を教えてくれるのが仏教です。

仏教では、この世界と私たちのありのままの姿を「諸行無常」と「縁起」という言葉で表します。「諸行無常」とは、この世界のすべての物事は一瞬もとどまることなく移り変わっているということであり、「縁起」とは、その一瞬ごとくすべての物事は、原因や条件が互いに関わりあつて存在しているという真実です。したがって、そのような世界のあり方の中には、固定した変化しない私というものは存在しません。

しかし、私たちはこのありのままの真実に気づかず、自分というものを固定した実体と考え、欲望の赴くままに自分にとって損か得か、好きか嫌いかなど、常に自己中心

慈悲はありません。しかし、今ここでの救いの中にありません。そのお慈悲ひとすじにお任せできない、よろこべない私の愚かさ、煩惱の深さに悲嘆せざるをえません。

私たちは阿弥陀如来のご本願を聞かせていただくことで、自分本位にしか生きられない無明の存在であることに気づかされ、できる限り身を慎み、言葉を慎んで、少しずつでも煩惱を克服する生き方へとつくり変えられていくのです。それは例えば、自分自身のあり方としては、欲を少なくして足ることを知る「少欲知足」であり、他者に対しては、穏やかな顔と優しい言葉で接する「和顔愛語」という生き方です。たとえ、それらが仏さまの真似事といわれようとも、ありのままの真実に教え導かれて、そのように志して生きる人間に育てられるのです。このことを親鸞聖人は門弟に宛てたお手紙で、「あなた方は）今、すべての人びとを救おうという阿弥陀如来のご本願のお心をお聞きし、愚かなる無明の酔いも次第にさめ、むさぼり・いかり・おろかさという三つの毒も少しずつ好まぬようになり、阿弥陀仏の薬をつねに好む身となつておられるのです」とお示しになられています。たいへん重いご教示です。

今日、世界にはテロや武力紛争、経済格差、地球温暖

の心で物事を捉えています。その結果、自分の思い通りにならないことで悩み苦しんだり、争いを起こしたりして、苦悩の人生から一歩たりとも自由になれないのです。このように真実に背いた自己中心性を仏教では無明煩惱といい、この煩惱が私たちを迷いの世界に繋ぎ止める原因となるのです。なかでも代表的な煩惱は、むさぼり・いかり・おろかさの三つで、これを三毒の煩惱といいます。

親鸞聖人も煩惱を克服し、さとりを得るために比叡山で二十年にわたりご修行に励まれました。しかし、どれほど修行に励もうとも、自らの力では断ち切れない煩惱の深さを自覚され、ついに比叡山を下り、法然聖人のお導きによつて阿弥陀如来の救いのはたらきに出遇われました。阿弥陀如来とは、悩み苦しむすべてのものをそのまま救い、さとりの世界へ導こうと願われ、その願い通りにはたらき続けてくださっている仏さまです。この願いを、本願といえます。我執、我欲の世界に迷い込み、そこから抜け出せない私を、そのままの姿で救うとはたらき続けていくくださる阿弥陀如来のご本願ほど、有り難いお

化、核物質の拡散、差別を含む人権の抑圧など、世界規模での人類の生存に関わる困難な問題が山積しています。が、これらの原因の根本は、ありのままの真実に背いて生きる私たちの無明煩惱にあります。もちろん、私たちはこの命を終える瞬間まで、我欲に執われた煩惱具足の愚かな存在であり、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いではできません。しかし、それでも仏法を依りどころとして生きていくことで、私たちは他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとするなど、少しでも仏さまのお心になう生き方を目指し、精一杯努力させていただく人間になるのです。

国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧と慈悲を正しく、わかりやすく伝え、そのお心になうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います。世界の幸せのため、実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを進めてまいりましょう。

二〇一六（平成二十八）年十月一日

浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳

※このご親教は、伝灯奉告法要初日にお示しくださいました。

伝灯奉告法要御満座の消息

昨年（平成三十一年）の十月一日よりお勤めしてまいりました伝灯奉告法要は、本日ご満座をお迎えいたしました。十期八十日間にわたるご法要を厳肅盛大にお勤めすることができましたことは、仏祖の指導きと親鸞聖人のご遺徳、また代々法灯を伝えてこられた歴代宗主のご教化によることは申すまでもなく、日本全国のみならず、全世界に広がる有縁の方々の報恩謝徳のご懇念のたまものと、まことに有り難く思います。

昨年（平成三十一年）の熊本地震から一年を経過し、甚大な被害をもたらした東日本大震災から六年が過ぎました。改めてお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。どれほど時間が経過しても心の傷は癒されることなく、深い痛みを感じてお過ごしの方も多くおられるでしょう。なかでも、原子力発電所の事故による放射性物質の拡散によって、今なお故郷に帰ることができず、不自由な生活を余儀なくされている方々が多くおられます。思うままに電力を消費する便利で豊かな生活を追求するあまり、一部の方々に過酷な現実を強いるという現代社会の矛盾の一つが、露わになったということができません。

自分さえ良ければ他はほかどうなってもよいという私たちの心にひそむ自己中心性は、時として表に現れてきます。このような凡愚の身の私たちではありますが、ご本願に出遇い、阿弥陀如来のお慈悲に摂め取られて決して捨てられることのない身ともなっています。そして、その大きな力に包まれているという安心感は、日々の生活を支え、社会のための活動を可能にする原動力となるでしょう。

凡夫の身であることを忘れた傲慢な思いが誤っているのは当然ですが、凡夫だから何もできないという無気力な姿勢も、親鸞聖人のみ教えとは異なるものです。即如前門主の『親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息』には、

凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていただきます。

と記されています。このように教示された生き方が念仏者にふさわしい歩みであり、親鸞聖人のお心になつたものであるといただきたいと思えます。このことは、ご法要初日に「念仏者の生き方」として詳しく述べさせていただきます。

今、宗門が十年間にわたる「宗門総合振興計画」の取り組みを進めておりますなか、来る二〇二三年（平成三十五年）年には宗祖ご誕生八百五十年、そして、その翌年には立教開宗八百年という記念すべき年をお迎えいたします。

改めて申すまでもなく、その慶讃のご法要に向けたこれからの生活においても、私たち一人ひとりが真実信心をいただき、お慈悲の有り難さ尊さを人々に正しくわかりやすくお伝えすることが基本です。そして同時に、仏さまのような執われない完全に清らかな行いはできなくても、それぞれの場で念仏者の生き方を目指し、精一杯努めさせていただくことが大切です。

み教えに生かされ、み教えをひろめ、さらに自他ともに心安らぐ社会を実現するため、これからも共々に精進させていただきます。

平成二十九年

五月三十一日

二〇一七年

龍谷門主 釋 專 如

5:00 17:00	5:00 19:30	5:00 17:00	5:00 17:30	5:00 17:00	5:00 17:00	5:00 17:00
16日(火)	15日(月)	14日(日)	13日(土)	12日(金)	11日(木)	10日(水)
小経(漢音) 正信偈 (真譜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (日中)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (晨朝)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (後夜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (中夜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (初夜)	小経(呉音) 往生礼讃偈 (日没)
	○	○	○	○	○	○
	西原 祐治 師	西原 祐治 師	西原 祐治 師	紫藤 常昭 師	紫藤 常昭 師	紫藤 常昭 師
西原 祐治 師	西原 祐治 師	西原 祐治 師	西原 祐治 師	紫藤 常昭 師	紫藤 常昭 師	紫藤 常昭 師
報恩講作法 (御満座)	五会念佛 作法	正念佛偈 作法第三種	二門偈作法 ★B	奉讃大師 作法	宗祖讃仰 作法	二門偈作法
	西原 祐治 師 ※手話通訳有	花岡 静人 師	野村 康治 師	大田 利生 師	西田 智教 師	
	○	○	○	○	○	※10日のみ 12:30～
	★F	★E	★C			
※16日のみ 13:30～	○	○	○	○	○	○
			★D	★A		
	西原 祐治 師 ※手話通訳有	西原 祐治 師	西原 祐治 師	西原 祐治 師	紫藤 常昭 師	紫藤 常昭 師
	広文類作法	大師影供作法	宗祖讃仰作法 (音楽法要)	浄土法事讃作法	正念佛偈 作法第三種	奉讃大師作法
	ご門主様ご親教 ※手話通訳有	御俗姓拝読				
	★G					
	※15日のみ 18:00～ 正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 御伝鈔拝読 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)
	正信偈 重誓偈	正信偈 重誓偈	正信偈 重誓偈	正信偈 重誓偈	正信偈 重誓偈	正信偈 重誓偈
				南條了瑛 師	尾崎 道裕 師	利國 敦之 師
	通夜布教 ★H	西原 祐治 師	西原 祐治 師	西原 祐治 師	紫藤 常昭 師	紫藤 常昭 師

* 御影堂・阿弥陀堂にて法要の中継をおこなっています

5:30 17:00	開門 閉門	場所	行事	時間	法要
9日(火)		御影堂	勤行	6:00～	晨朝
		御影堂	帰敬式	晨朝後	
		総会所	常例布教	8:10～ 20分間	
		御影堂	御堂布教	9:30頃～ 10分間	
		御影堂	法要	10:00～	日中
		総会所	特別講演	11:10～ 40分間	
		通の書院	お斎	日中法要後 12:00～	
			帰敬式	13:00～	
		御影堂	御堂布教	13:30頃～ 10分間	
		御影堂	法要	14:00～	速夜
			速夜法要に 引き続き		夜
		御影堂	勤行	15:30～	初夜
		御影堂	勤行	初夜終了後	日没
		総会所	御絵伝解説	18:15～ 35分間	
		総会所	常例布教	19:00～ 40分間	
		御影堂	勤行	13:00頃～ 10分間	
		御影堂	法要	14:00～	
		御影堂	勤行	15:30～	
		御影堂	勤行	初夜終了後	
		総会所	御絵伝解説	18:15～ 35分間	
		総会所	常例布教	19:00～ 40分間	

2018(平成30)年 御正忌報恩講法要 全日程表

9日 速夜法要～16日 日中法要

関連行事

- ★A…12日(金) 13:20～
御法楽献詠入選者表彰式 【御影堂】
- ★B…13日(土) 日中法要に引き続き(10:45頃～)
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要宗門関係学校生徒作文朗読・表彰式 【御影堂】
- ★C…13日(土) 12:00～
龍谷大学吹奏楽部御堂演奏会 【阿弥陀堂】
- ★D…13日(土) 13:20～
第61回全国児童生徒作品展表彰式 【御影堂】
- ★E…14日(日) 11:25～
第66回 本山成人式 【阿弥陀堂】
- ★F…15日(月) 11:50～
講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 【御影堂】
- ★G…15日(月) 16:00～
御正忌報恩講奉讃演奏会 【聞法会館3F】
- ★H…15日(月) 19:00～16日(火) 5:40
通夜布教 【聞法会館(1F総会所・3F多目的ホール)】

お頭人

お頭人とは、御正忌報恩講法要中における初夜勤行(斎、非時の勤行)に正信偈を勤める調声人のことで、喚鐘が鳴り終わり、係の者(承仕)が外陣で「お頭人! お頭人!」と大きく呼ぶ声が御堂中に響き渡ると、お勤めが始まります。



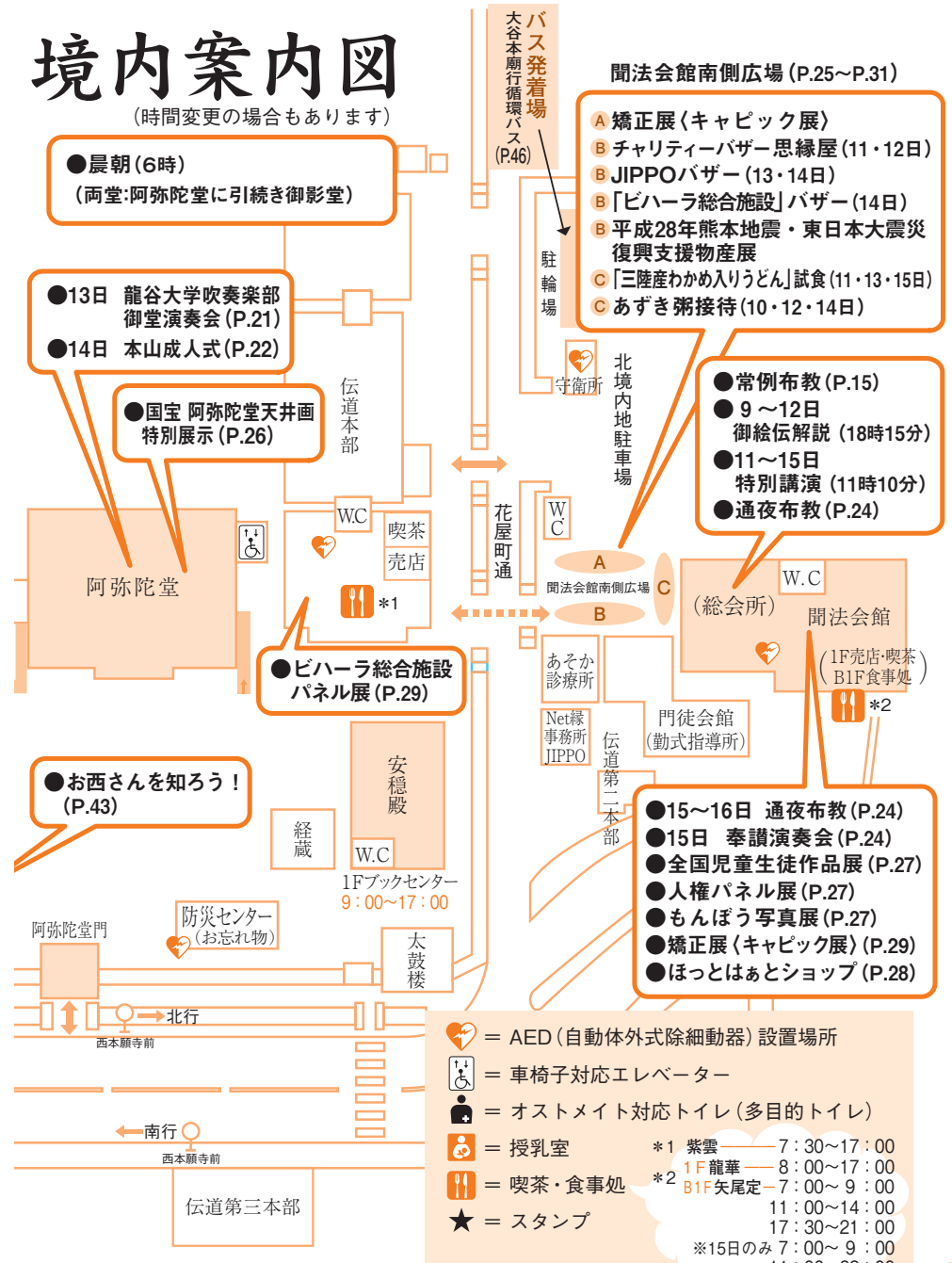
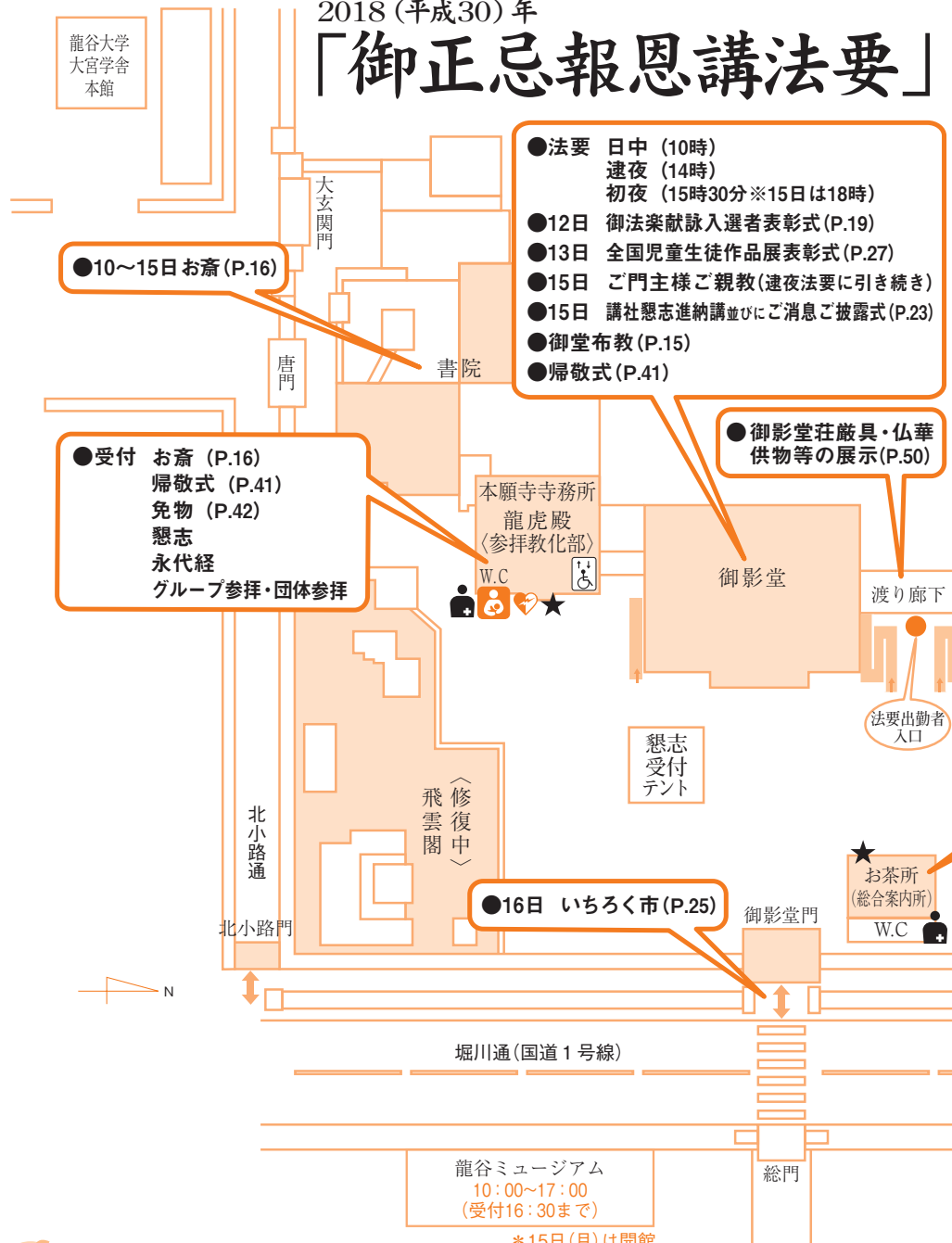
龍谷大学
大宮学舎
本館

2018 (平成30) 年

「御正忌報恩講法要」

境内案内図

(時間変更の場合もあります)



- ♥ = AED (自動体外式除細動器) 設置場所
 - ♿ = 車椅子対応エレベーター
 - ♿ = オストメイト対応トイレ (多目的トイレ)
 - 👶 = 授乳室
 - 🍴 = 喫茶・食事処
 - ★ = スタンプ
- *1 紫雲 7:30~17:00
1F 龍華 8:00~17:00
*2 B1F 矢尾定 7:00~9:00
11:00~14:00
17:30~21:00
※15日のみ 7:00~9:00
11:00~22:00

御正忌報恩講法要(日程)



経文については、別冊の『御正忌報恩講 勤行集』をご参照ください。また(約〇分)は目安としてご参考ください。

御親開扉

このたびの御正忌報恩講法要をお迎えするにあたり、ご門主様により、御真影様ご安置の御厨子の扉が開けられます。

改悔批判

※13日は御伝鈔拝読のためおこないません。

改悔批判とは、ご門主様が信心(安心)の正否を批判(判断)する儀式です。

本願寺第八代蓮如上人のころ、報恩講中の毎夜、篤信の僧侶・門徒が各自の信仰を告白し、批判を仰いだことにはじまるものです。

現在は、9日は初夜に、10、11、12、14、15日は初夜のお勤めに引き続き、改悔批判をおこなっております。

今年の与奪者は森田浄円勧学です。

9日

火

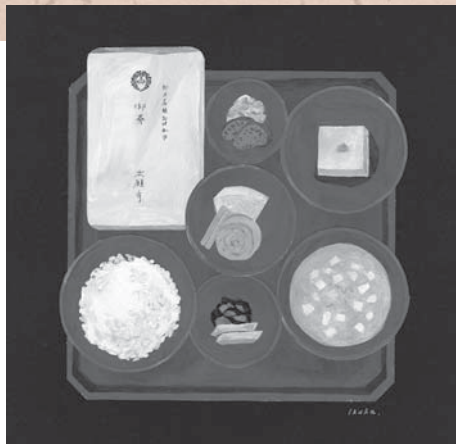
開門 5:30 閉門 17:00

帰敬式(御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

13時30分頃	御堂布教	御影堂
13時55分	御親開扉	御影堂
14時00分 (約45分)	速夜法要 大師影供作法	御影堂
15時30分 (約25分)	初夜〔改悔批判〕	御影堂
18時15分	御絵伝解説(第一夜)	總會所
19時00分	常例布教	總會所
●常例布教(總會所)	8:10~ 20分間 19:00~ 40分間	
●御堂布教(御影堂)	9:30頃~ 10分間 13:30頃~ 10分間	
12日 午後 16日 午前	西原 祐治 師 東京教区千葉組 西方寺	
9日 午後 12日 午前	紫藤 常昭 師 福岡教区 早良組 徳常寺	

お齋



とき ● 1月10日(水)~15日(月)、
日中法要終了後12時~

ところ ● 書院(鴻之間)

全席椅子席

仏教では、『食事』と呼ばれる、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『齋』といいます。

本願寺では、毎年一月十日から十五日まで、日中法要終了後にお齋の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっています。

本願寺でのお齋は、動物性の食材は一切用いず、一汁五菜を基本にした精進料理で、蜜柑(和歌山有田北組の皆様がご進納)と「本願寺せんべい」(お供えしております御仏飯を使用)を土産にお持ち帰りいただいております。

お申込みについては、お気軽に参拝教化部までおたずねください。

●お一人様につき一万元以上のご懇志に対するお扱いとなります。



担当部 参拝教化部(龍虎殿1階) ※以下ページ担当部は で表記

10日

水

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	両	堂
8時10分	常例布教	総	会
9時30分頃	御堂布教	御	影
10時00分	日中法要 二門偈作法	御	影
13時30分頃	御堂布教	御	影
14時00分	速夜法要 奉讃大師作法	御	影
15時30分	初夜〔正信偈〕 引き続き改悔批判	御	影
18時15分	御絵伝解説 (第二夜)	総	会
19時00分	常例布教	総	会

御絵伝解説

— 御絵伝に見る親鸞聖人のご生涯 —

御正忌報恩講には、御影堂の両余間に「御絵伝」が奉懸され、十三日の初夜勤行に引き続いて『御伝鈔』が拝読されます。総会所の大型スクリーンに映写した「御絵伝」を、布教研究専従職員が四夜連続して場面ごとに解説いたします。絵の中に描かれた宗祖親鸞聖人のご生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきますよう。

※併せて32〜40ページもご参照ください。

とき ● 1月9日(火)～12日(金)
18時15分～18時50分

ところ ● 聞法会館1階 総会所

講師

- 〈第一夜〉 9日(火) 高澤 恒 雄
- 〈第二夜〉 10日(水) 利國 淳 之
- 〈第三夜〉 11日(木) 尾崎 道 裕
- 〈第四夜〉 12日(金) 南 條 了 瑛

参拝教化部

11日

木

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	両	堂
8時10分	常例布教	総	会
9時30分頃	御堂布教	御	影
10時00分	日中法要 宗祖讃仰作法	御	影
11時10分	特別講演	総	会
13時30分頃	御堂布教	御	影
14時00分	速夜法要 正信念佛偈作法第三種	御	影
15時30分	初夜〔正信偈〕 引き続き改悔批判	御	影
18時15分	御絵伝解説 (第三夜)	総	会
19時00分	常例布教	総	会

『御伝鈔』と「御絵伝」

本願寺第三代覚如上人は、親鸞聖人のご遺徳を讃仰するために、そのご生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。

後に多くのご門徒の方がたにご覧いただけるようにと、文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝鈔』『御絵伝』と呼ばれ、流布するようになりました。御正忌報恩講の折にこの「御絵伝」(八幅)を御影堂の左右両余間にお掛けし、一月十三日に『御伝鈔』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。

特別講演

苦悩を抱えた命の安らぎ

本願寺派布教使

西田 智 教師

12日

金

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式(御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	両	堂
8時10分	常例布教	総	会 所
9時30分頃	御堂布教	御	影 堂
10時00分 (約50分)	日中法要 奉讃大師作法	御	影 堂
11時10分	特別講演	総	会 所
★13時20分	御法楽献詠入選者表彰式	御	影 堂
13時30分頃	御堂布教	御	影 堂
14時00分 (約65分)	速夜法要 浄土法事讃作法	御	影 堂
15時30分 (約60分)	初夜〔正信偈〕 引き続き改悔批判	御	影 堂
18時15分	御絵伝解説〔第四夜〕	総	会 所
19時00分	常例布教	総	会 所

特別講演
 如來の願心に聞く
 本願寺派勸学 大田利生師

★御法楽献詠

聞法の慶びを和歌に詠む御法楽献詠は、本願寺第二十一代明如上人御在位の頃までは毎年御正忌報恩講に歌を詠じ、祖前に献供され、御正忌報恩講御満座後、ご門主様御廟参時に祖壇献供されておりました。

近年は、兼題が定められ、門信徒の方がたから歌を募り、御廟参時に祖壇に献供されております。

本年は兼題を「朝(あさ・あした)」とし、全国より百五十首の献詠歌が寄せられ、その中から次ページの五首が入選いたしました。

ごほうらくけんえい 平成30年 御法楽献詠入選歌

兼題

あさ・あした 朝

講評 宗派月刊誌「大乘」歌壇選者 喜多 弘樹

御正忌の朝晴れわたり淑気満ち

念仏に目ざむいのちすがしも

奈良県 石川欣也

《評》御正忌の朝の目覚めのなんとすがすがしいことでしょうか。晴れた冬の青空から光が差し、新春のおだやかな気が満ち、おのずから念仏とともに生かされて在るいのちです。

朝に夕に如來の光満ちみちて

しずかにもろの手を合わせけり

宮崎県 馬場陽子

《評》朝も夕べもお念仏を申す作者。その姿もまた阿弥陀如來の光とともに在ります。ただ静かに両手を合わせる、それだけでこころが洗われ、生きる力がみなぎってきます。

尽十方無碍のひかりに包まれて

よばしめたもう朝のみ堂に

熊本県 新道くみ子

《評》あまねく、分け隔てなく弥陀の光に包まれながら、今朝も本堂でお勤めをする作者。生きとし生けるものすべて弥陀とともにこの御堂に来てくださいというやさしい呼びかけ。

朝の陽に笑顔正座で名号を

称えるわれは弥陀のふところ

東京都 阿部由花里

《評》朝の光の輝く中、笑顔をたやさず正座してお念仏を申すところはつねおおらかです。この赤児のようなわたくしをやさしく包んでくださる弥陀に謝しつつ日々を勤めます。

朝あさな六字のみ名を称えつつ

けふの一日の喜びとせむ

山口県 出上眞喜子

《評》朝が来るたびに六字名号を称える日々の安穩。ひと日ひと日が生かされている喜びは、阿弥陀如來につねに寄り添われている喜びでもありません。素直な感動のたまもの。

13日

土

開門 5:00 閉門 17:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	両	堂
8時10分	常例布教	総	会
9時30分頃	御堂布教	御	影
10時00分	日中法要 二門偈作法	御	影
引き続き	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 宗門関係学校生徒作文朗読・表彰式	御	影
11時10分	特別講演	総	会
12時00分	龍谷大学吹奏楽部御堂演奏会	阿	弥
13時20分	第61回全国児童生徒作品展表彰式	御	影
13時30分頃	御堂布教	御	影
14時00分	速夜法要 宗祖讃仰作法(音楽法要)	御	影
15時30分	初夜〔正信偈〕 引き続き御伝鈔拝読	御	影
19時00分	常例布教	総	会

(約45分)

(約130分)

特別講演
口に世事をまじへず、ただ仏恩のふかきことをのぶ
本願寺派布教使 野村康治師

14日

日

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	両	堂
8時10分	常例布教	総	会
9時30分頃	御堂布教	御	影
10時00分	日中法要 正信念佛偈作法第三種	御	影
引き続き	速夜法要 御俗姓拝読	御	影
14時00分	速夜法要 大師影供作法	御	影
15時30分	初夜〔正信偈〕 引き続き改悔批判	御	影
19時00分	常例布教	総	会

(約45分)

(約65分)

特別講演
阿弥陀さまの「イノチのミカタ」
本願寺派布教使 花岡静人師

★龍谷大学吹奏楽部御堂演奏会

宗門関係学校の龍谷大学学友会学術文化局吹奏楽部は、国内はもとより海外でも精力的に公演を行い、各方面より非常に高い評価を得ております。



本年も、御正忌報恩講に併せて、阿弥陀堂で演奏会を行います。是非ともこの機会に全国トップクラスの吹奏楽部が奏でる柔らかい響きと学生らしい元気溢れる演奏をご鑑賞ください。

とき ● 1月13日(土) 12時～12時50分

ところ ● 阿弥陀堂

👉 社会部 (宗教教育担当)



とき ● 1月14日(日) 11時25分～ [式典・記念講演]

ところ ● 阿弥陀堂

★第66回「本山成人式」

新成人となられたことをご縁として、御正忌報恩講期間中、阿弥陀堂にて「本山成人式」を開催いたします。成人式は、一人の成人として社会に旅立つにあたり、これまでお育てにあずかった方がたへの感謝の気持ちをあらわすとともに、浄土真宗のみ教えを聞いて人生を歩んでいくことを奉告する儀式です。ご一緒にあたたかくお祝いいたしましょう。

御俗姓

御俗姓は「俗姓の御文」とも呼ばれ、本願寺第八代蓮如上人が一四七七(文明九)年に親鸞聖人の御正忌報恩講に際してお書きになった御文章です。

前文では宗祖の俗姓を明かし、行蹟を述べられ、後文では報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の真実信心を勧められています。

通夜布教

通夜布教とは、親鸞聖人ご往生の前夜、門弟や縁の深い方々が集まり夜を明かしたことに始まると言われ、現在では1月15日夜から16日早朝にかけ、本願寺派布教使が夜通し交代で法話をいたします。

と き ● 1月15日(月) 19時～1月16日(火) 5時40分
 ところ ● 聞法会館 (1階・総会所および3階・多目的ホール)

1階 総会所	時間	3階 多目的ホール
勤行 (正信偈六首引)	19:00～19:30	勤行 (正信偈六首引)
挨拶	19:30～19:35	挨拶
講師名		講師名
西原 祐治 (東京教区 千葉組 西方寺)	19:50～20:30	岡 智徳 (山口教区 白滝組 妙久寺)
日置 宗明 (東海教区 朝明組 信明寺)	20:30～21:10	中山 信之 (福岡教区 西嘉穂組 光妙寺)
冬野 正隆 (奈良教区 葛上組 正福寺)	21:10～21:50	西原 祐治 (東京教区 千葉組 西方寺)
休憩 (20分)	21:50～22:10	休憩 (20分)
岡 智徳 (山口教区 白滝組 妙久寺)	22:10～22:50	日置 宗明 (東海教区 朝明組 信明寺)
中山 信之 (福岡教区 西嘉穂組 光妙寺)	22:50～23:30	冬野 正隆 (奈良教区 葛上組 正福寺)
水之江陽子 (大分教区 日田組 法林寺)	23:30～0:10	藤下 順道 (石川教区 金沢組 光明寺)
山崎 教真 (東北教区 岩手組 浄泉寺)	0:10～0:50	宮部 誓雅 (大阪教区 島中南組 誓覚寺)
休憩 (20分)	0:50～1:10	休憩 (20分)
藤下 順道 (石川教区 金沢組 光明寺)	1:10～1:50	水之江陽子 (大分教区 日田組 法林寺)
宮部 誓雅 (大阪教区 島中南組 誓覚寺)	1:50～2:30	山崎 教真 (東北教区 岩手組 浄泉寺)
坂上 良 (四州教区 高知組 受法寺)	2:30～3:10	西 方眞 (熊本教区 種山組 護念寺)
休憩 (20分)	3:10～3:30	休憩 (20分)
南條 了瑛 (東京教区 中組 法重寺)	3:30～4:10	高田 芳行 (北海道教区 十勝組 大正寺)
西 方眞 (熊本教区 種山組 護念寺)	4:10～4:50	坂上 良 (四州教区 高知組 受法寺)
高田 芳行 (北海道教区 十勝組 大正寺)	4:50～5:30	南條 了瑛 (東京教区 中組 法重寺)
挨拶・恩徳讃	5:30～5:40	挨拶・恩徳讃

と き ● 1月15日(月) 16時～17時30分(予定)
 ところ ● 聞法会館3階多目的ホール (入場無料・全席自由)



出演 本願寺合唱団 (指揮・鈴木捺香子) プラティヤヤ・アンサンブル

浄土真宗本願寺派総合研究所

御正忌報恩講 奉讃演奏会

— 通夜布教前のひとときを 仏教讃歌とともに —

合唱と管楽アンサンブルによる仏教讃歌の調べをお楽しみください

プログラム

- ◆ ふれあるき
- ◆ 弥陀大悲の誓願を 囁きたもう 他

※曲目は都合により変更となる場合があります。

15日 月

日程 1月15日(月)

開門 5:00 閉門 19:30
 帰敬式 (御影堂)
 午前 晨朝後 午後 13:00

特別講演	18時00分 (約60分)	16時00分 (約90分)	14時00分	13時30分頃	11時50分	11時10分	10時00分 (約45分)	9時30分頃	8時10分	6時00分
特別講演 阿弥陀さまの願い 本願寺派布教使 西原祐治 師	初夜 (正信偈) 引き続き改悔批判	御正忌報恩講奉讃演奏会	速夜法要 広文類作法	御堂布教 手話通訳	講社懇志進納講並びにご消息ご披露式	特別講演 手話通訳	日中法要 五会念佛作法	御堂布教	常例布教	晨朝
	御影堂	聞法会館	御影堂	御影堂	御影堂	総会所	御影堂	御影堂	総会所	両堂

と き ● 1月15日(月) 11時50分
 ところ ● 御影堂



新たに講社ホームページを開発いたしました。歴史や年間行事など幅広く紹介しております。
<http://kousha.hongwanji.or.jp>



参考教化部

講社懇志進納講並びにご消息ご披露式

本願寺に対し物心両面にわたりご尽力いただいている本願寺全国講社連絡会の各講社より、一年間に進納のあつた進納品並びに懇志進納額が読みあげられ、目録進呈後、一九六五(昭和四十)年に本願寺第二十三代勝如上人が発布された「講社への消息」が披露されます。

御正忌報恩講法要期間中の関連行事日程

関連行事名	場所	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)
1 文化財修復事業 国宝 阿弥陀堂天井画 特別展示	阿弥陀堂内北側 特設展示ブース	9:00~11:00 13:00~16:00			
2 第61回全国児童生徒作品展	間 地下1階・3階ロビー				
3 人権パネル展	間 地下ホール				
4 もんぼう写真展	間 1階総会所横廊下				
5 西本願寺グランドツーリング 真宗十派本山 報恩講巡り	スタンプ 龍虎殿 設置場所 お茶所				
6 ほっとはあとショップ ～結ぶ絆から、広がるご縁へ～	間 1階ロビー(和室前)	12:00~17:00	10:00~17:00		
7 ビハラー総合施設	パネル展：伝道本部東棟ロビー				
	バザー：間 南側広場				
8 矯正展(キャピック展)	間 1階和室(2会場) 間 南側広場	14:00~17:00	10:00~17:00		
9 JIPPOバザー	間 南側広場				
10 チャリティバザー思縁屋	間 南側広場			9:30~16:30	
11 平成28年熊本地震 東日本大震災 復興支援	物産展 間 南側広場	12:00~16:00	9:30~16:00		
	三陸産わかめ入りうどん試食			10:00~14:00	
12 あずき粥接待	間 南側広場		日中法要後 ~12:30		日中法要後 ~12:30

間 = 間法会館

※P.13の境内案内図を併せてご参照ください。

13日(土)	14日(日)	15日(月)	16日(火)
	午後のみ		午前のみ
13:20 表彰式 (御影堂)			
		10:00~19:00	10:00~13:00
		10:00~16:00	
10:00~17:00			10:00~14:00
			9:30~12:00
10:00~14:00	日中法要後 ~12:30	10:00~14:00	

16日
火

開門 5:00
閉門 17:00

13時30分 帰敬式	約95分 10時00分 日中法要 報恩講作法	9時30分頃 御堂布教	6時00分 晨朝	(15日19時~) 5時40分迄 通夜布教
御影堂	御影堂	御影堂	両堂	間法会館

※午前の帰敬式は行われません

日程 1月16日(火)

1 文化財修復事業 国宝 阿弥陀堂天井画 特別展示

本願寺では、2017年7月より国庫補助事業として阿弥陀堂内陣・飛雲閣・唐門の修復を推進しており、阿弥陀堂内陣は現在、天井画の修復を行っています。

阿弥陀堂内陣の天井は木を格子状に組んだ格天井という構造で、269個ある区画すべてに天井画が取り付けられています。天井画は普段約7メートルもの高さにあるため、内陣でお勤めする僧侶であっても間近で目にする機会はほとんどありません。

今回は修復にあたり取り外した天井画(修復前・修復後)を特別に展示いたします。描かれた当時の職人の技術や、修復前後の違いをどうぞごゆっくりとご覧ください。

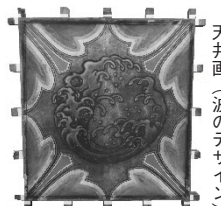
日時 1月9日(火)~16日(火)
9時~11時、13時~16時
※14日は午後のみ、16日は午前のみ

場所 阿弥陀堂内北側 特設展示ブース

本山振興計画推進事務所



阿弥陀堂内陣の天井



天井画(波のデザイン)



門前町 いちろく市

とき ● 1月16日(火) 9時~15時

ところ ● 第一会場「伝道院」周辺
第二会場「龍谷ミュージアム」前
第三会場「御影堂門」前

毎月、16日に開催中!
新規出店者募集チーン☆



おりんちゃん

主催 植柳まちづくり
プロジェクトチーム
usami@shokakudo.jp

2 展示 第61回 全国児童生徒作品展

本作品展は、「絵画の部」「書の部」「作文・詩の部」の三部門からなり、全国の幼児、小・中学生から、毎年多くの作品を出品いただいております。応募作品の中から、「特選」（各部門各学年から一名）を選び、御正忌報恩講期間中に御影堂で表彰します。



なお、御正忌報恩講期間中、聞法会館地下1階及び3階ロビーにおいて、特選、入選、はと賞の作品を展示しておりますので、ご覧ください。

日時 1月9日(火)～16日(火) **場所** 聞法会館地下1階・3階ロビー
[表彰式] 1月13日(土) 13時20分 御影堂

寺院活動支援部〈組織教化担当〉

3 展示 人権パネル展

宗派が推進する「御同朋の社会をめぐる運動」(実践運動)の具体的な取り組みのひとつとして、「人権パネル展」を開催しております。

本年は、『部落差別解消推進法』が出来ました。差別をなくすのは「わたし」たちをテーマに、二〇一六年十二月に施行された法律に関するパネルを展示します。部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けてじっくり考えてみましょう。

4 展示 もんぼう写真展

つながる・つたわる・つたえるをメインテーマにした写真展です。全国の皆さまからご応募いただきました、こころ温まる作品をご鑑賞ください。

日時 1月9日(火)～16日(火)
場所 聞法会館1階総会所横廊下

聞法会館

日時 人権週間(12月4日)から御正忌報恩講法要(1月16日)まで
場所 聞法会館地下ホール

社会部〈人権問題担当〉

5 スタンプラリー 『西本願寺グランドツアーリング』『真宗十派本山報恩講法要巡り』(全国別院巡拝スタンプラリー)

宗門では、全国にある別院や教堂の報恩講スタンプラリーを実施しています。また、真宗教団連合においても、真宗十派本山の報恩講法要巡り(スタンプラリー)を実施しています。

お茶所にて、スタンプ台紙を配布いたしておりますので、是非お立ち寄りください。

重点プロジェクト推進室



真宗教団連合(所務部〈文書担当〉)

6 販売 ほっとはあとショップ 結ぶ絆から、広がるご縁へ

本年も、「御同朋の社会をめぐる運動」(実践運動)推進の一環として、障がいのある人たちが中心となって製作した「ほっとはあと製品」を販売するショップを出店いたします。

お店では、おいしいパンやお菓子、そして生活雑貨等の販売をいたしますので、皆さまのお越しをお待ちいたしております。



重点プロジェクト推進室



主催：特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター
※障がいのある人たちの自立と社会参加を図ることを目的に、京都府・京都市・府内の授産施設や共同作業所等が合同で設立した団体です。
後援：浄土真宗本願寺派 重点プロジェクト推進室

日時 1月9日(火)～16日(火) 10時～17時
※9日は12時から、15日は19時まで、16日は13時まで
場所 聞法会館1階ロビー(和室前)

展示バザー 7 ビハーンラ総合施設

宗門では、平成二十年四月に京都府城陽市に「あそかビハーンラ病院（旧クリニック）」並びに特別養護老人ホーム「ビハーンラ本願寺」を開設し、仏教と医療・福祉が連携しながら、ビハーンラ活動を推進しております。このたび、総合施設の活動をより一層知っていただくためパネル展などを開催いたします。

【パネル展】

緩和ケア病棟である「あそかビハーンラ病院」や特別養護老人ホーム「ビハーンラ本願寺」の普段の様子について、また総合施設に常駐する僧侶の活動について、写真や動画を通して紹介いたします。

日時 法要期間中 **場所** 伝道本部東棟ロビー

【「ビハーンラ総合施設」バザー】

ボランティアによる「ビハーンラ総合施設」バザーを開催いたします。収益金は総合施設でのボランティアの活動支援等に使用させていただきます。

日時 1月15日(月) 10時～16時 **場所** 聞法会館南側広場



J R山城青谷駅から徒歩10分
お車の方は国道24号線よりお入りください

あそかビハーンラ病院
 城陽市奈島下ノ畔3-3
 ☎ 0774-54-0120

特養) ビハーンラ本願寺
 城陽市奈島内垣内1番地
 ☎ 0774-54-0700



☞ 社会部〈社会事業担当〉

バザー 9 JIPPOバザー

国際貢献を目的に宗門が母体となり平成二十年十一月に設立した特定非営利活動法人（NPO法人）JIPPOではバザーを開催いたします。

バザーでは全国より寄せられた食品、日用品、衣類、陶器、雑貨などの品物や、*フェアトレード商品のスリランカ産ウバ紅茶、東ティモール産コーヒーのほか、南相馬市小高産菜の花オイル「浦里の雫（うらさとのしずく）」等を販売いたします。また、期間中、温かいコーヒー、紅茶の喫茶コーナーも設けます。

バザーの売上金はJIPPOの活動資金とさせていただきます。

*フェアトレード
途上国において生産された商品を適正価格（フェア）で貿易（トレード）販売することです。みなさんが商品を購入することで生産者の生活改善や自立支援につながります。



日時 1月13日(土)・14日(日) 10時～17時 **場所** 聞法会館南側広場

☞ 社会部〈社会事業担当〉

展示販売 8 矯正展（キャピック展）

宗門では約四〇〇名の教誨師・篤志面接委員が教化伝道および、社会貢献の一環として全国の刑務所や少年院等において宗教教誨や面接活動を実施しています。その様子などを広く知っていただくとともに、処遇及び教育の一環として製作される刑務所作業製品（家具・靴・伝統工芸



品など心をこめた逸品）の展示販売会を二会場にておこなっておりますので、是非お立ち寄りください。

主催 (公財)刑務作業協力事業部/浄土真宗本願寺派
後援 京都刑務所
協賛 刑務作業協賛業者

日時 法要期間中 10時～17時
 ※9日は14時から、16日は14時まで

場所 聞法会館1階和室
 聞法会館南側広場

☞ 社会部〈社会事業担当〉

バザー 10 チャリティーバザー「思縁屋」

チャリティーバザー「思縁屋」の名前は、すべての被災された方々の悲しみに寄り添い、思いを分かち合ってください。心豊かに生きることのできる社会の実現を願い名づけられました。職員有志で集めた品物の売上金は、災害支援金に寄付いたします。



日時 1月11日(木)・12日(金) 9時30分～16時30分
 (品物が無くなり次第終了)

場所 聞法会館南側広場

☞ 宗会事務局・勸学寮・監正局

11 平成28年熊本地震 復興支援 東日本大震災 復興支援

宗門では、平成28年熊本地震並びに東日本大震災発生直後に本山上に緊急災害対策本部を設置するとともに現地緊急災害対策本部を設置し、物心両面にわたる支援を行っております。

さらに、ボランティア活動に関する情報の収集と提供、支援物資の要望と受入れの連絡調整などを行っており、被災されたすべての方々に寄り添うため、多くのボランティア活動者が被災寺院をはじめ、各所の要望に応じた復興支援や心のケアなどの活動を行っております。

このたびの御正忌報恩講法要期間中に、聞法会館南側広場において、被災地の物産展を開催するとともに、「食数限定で「三陸産わかめ入りうどん」のご試食を無料でご用意しておりますので、是非お立ち寄りください。



○物産展 ※売り切れ次第終了

日時 1月9日(火)～16日(火) 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで
※「三陸産わかめ入りうどん」の試食は11日(木)・13日(土)・15日(月) 10時～14時 (食数限定)
場所 聞法会館南側広場

社会部 (災害対策担当)

12 炊き出し あずき粥接待

ご参拝の皆さまに、心身共に温まっていただけよう、お仏飯のおさがりと、親鸞聖人がお好きであったとされる小豆を炊きあげ、あずき粥の接待を行っております。職員有志にてご提供いたしますので、是非お立ち寄りください。



日時 1月10日(水)・12日(金)・14日(日)
※日中法要後から12時30分まで (食数限定)
場所 聞法会館南側広場

親鸞聖人のご生涯 (御絵伝解説)

親鸞聖人のご生涯をまとめた絵物語を『御絵伝』といいます。

聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌の翌年にそのご生涯を讃仰するために書かれた、『本願寺聖人親鸞伝絵』(絵巻物)を元にしています。

後にこの『親鸞伝絵』が、文章の部分『御伝鈔』と、絵の部分『御絵伝』に分けられ、江戸時代になつてからは、一般のお寺でも、報恩講(聖人のご命日法要)の際には、『御絵伝』が奉懸され、『御伝鈔』が拝読され、広くご門徒に親しまれるようになりました。

『御絵伝』は、八幅や六幅で描かれているものもありますが、主にお寺で奉懸されるのは、四幅や二幅で描かれているものです。

この『御絵伝』(33〜40ページ)は、平成二十三年(二〇一一年)にお迎えした親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して、江戸時代の初めから四百年間、お寺や仏壇に奉懸する掛軸を手掛けてきた繪表所より寄進された、二幅の『御絵伝』を軸の表装から八面の額表装へ改装したもので、龍虎殿一階ロビーにて常時ご覧いただけます。



【出家学道】（下段・上段左）

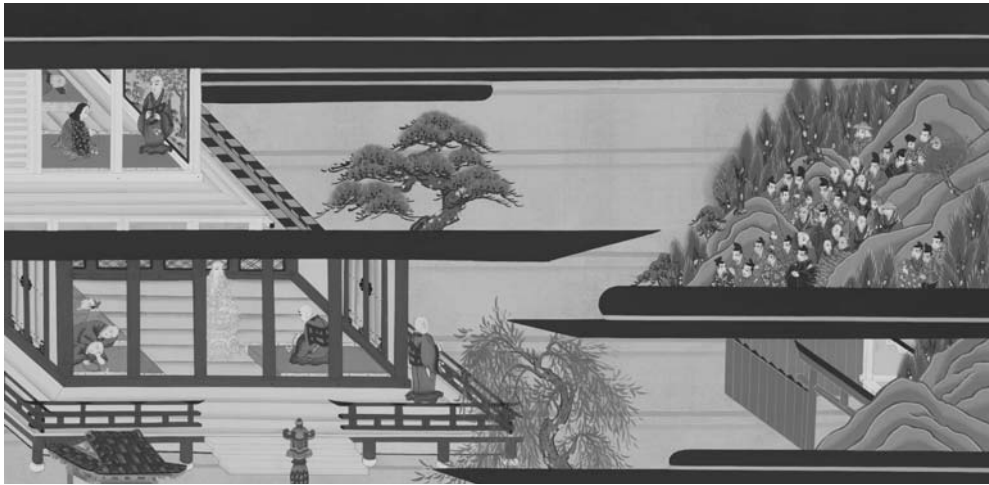
承安三年（一一七三年）、今の京都市伏見区日野にお生まれになった親鸞聖人は、治承五年（一一八一年）、御年九歳で、伯父の日野範綱卿に伴われ京都市東山区の慈円和尚（慈鎮和尚）の坊舎（白川房）で、僧侶となる儀式（お得度）を受け出家されました。

夜も近いから、明日来るようにと一旦断られましたでしたが、聖人は「明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものは」と歌を詠まれ、その日の出家を許されます。この後聖人は、範宴と名乗られました。

各場面には、咲き誇るその桜、上段左には、白川房の慈円和尚が見守る中、紙燭で手元を照らしながら、剃髪する（髪を剃る）様子が描かれています。

【吉水入室】（上段右）

建仁元年（一一二〇一年）、二十九歳とされた聖人は、頂法寺（六角堂）の参籠を経て、源空聖人（法然聖人）のもとを訪ねます。聖人が白い衣と袈裟を着けて、源空聖人のもとを訪れている様子が描かれています。



【六角夢想】（下段・上段右）

親鸞聖人は二十九歳の時比叡山を下りられ、京都市中京区の頂法寺（六角堂）に百日間の参籠をされます。

この絵は、その九十五日目の明け方に聖人が見られた夢の様子が描かれています。

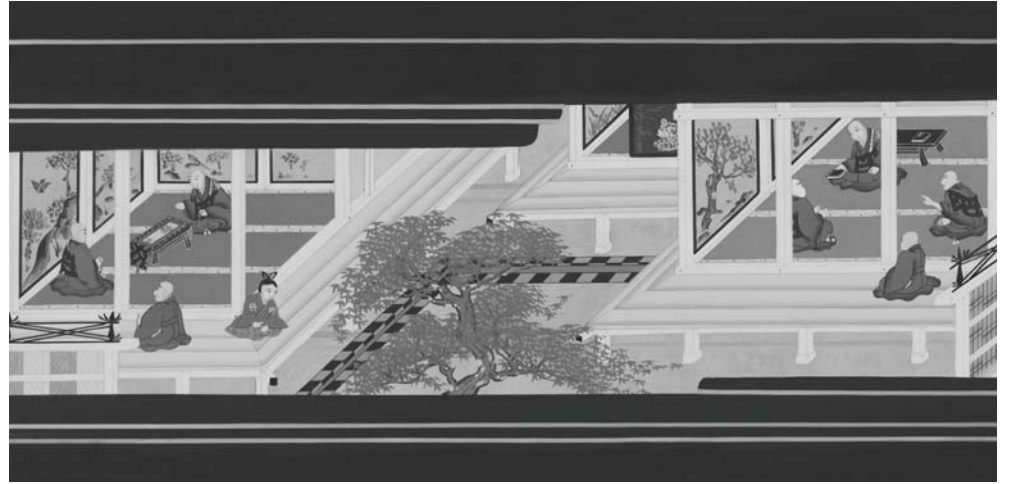
この夢を見られた聖人は源空聖人（法然聖人）のもとを訪ねるご決意をされ、お弟子になられます。

聖人は、お堂の左端で横になっているお姿と、頂法寺のご本尊、救世観音に礼拝されているお姿、東（右）を見られているお姿で描かれています。

【蓮位夢想】（上段左）

この場面は、親鸞聖人八十四歳の頃に話をうつつし、建長八年（一二五六年）、蓮位という聖人のお弟子が見た夢の様子が描かれています。蓮位は上段左上、眠っている姿で描かれています。

その夢は、聖徳太子が聖人に向かって礼拝されていたという内容でした。このことよって、聖人が阿弥陀如来の化身であることが伝えられています。



【選択付属】

親鸞聖人が、源空聖人（法然聖人）から許されて、『選択本願念仏集』と源空聖人の絵像を授かっている場面です。聖人はその主著『顕浄土真実教行証文類』の後序で、

元久乙丑の歳（元久二年「二〇五年」）、恩恕（お許し）を蒙りて（受けて）『選択』（選択集）を書しき。

同じき年の初夏中旬第四日（陰暦四月十四日）に、

「選択本願念仏集」の内題の字（書物の題名）、

ならびに「南無阿弥陀仏 往生之業 念仏為本」と

「釈 緯空」の字と、空（源空聖人||法然聖人）の真筆（直

筆）をもつて、これを書かしたまひき（書いてくださった）。

同じき日、空（源空聖人）の真影（絵像）申し預かりて、図

画したてまつる。

と思い起こされています。

【信行両座】（下段）

ある時親鸞聖人が、「お浄土へ行くことは、ご信心で決まるか、念仏の行をばげむことで決まるか」お弟子たちに確認した

いと、源空聖人（法然聖人）に相談しました（下段右）。

「ご信心でお浄土へ行くことが決まる」という場所には、はたして数人のお弟子と聖人、駆け付けた法力房（熊谷直実、最後に源空聖人が座りました（下段左）。

【信心諍論】（上段右）

ある時親鸞聖人が、「源空聖人のご信心と、わたしのご信心は同じです」と話し、お弟子たちに厳しく咎められました。源空聖人は、「ご信心は、阿弥陀如来から賜うるもの。同じだから同じお浄土へ行けます」と仰った様子が描かれています。

【入西鑑察】（上段左）

時代は変わって、親鸞聖人七十歳の頃お弟子の入西が、聖人に絵姿をお願いするより先に、聖人がその気持ちを探して、「定禅という絵師に描いてもらうといい」と言われました（右）。定禅は、「夢の中で描いた生身の阿弥陀如来である僧侶こそ、親鸞聖人でした」と感動の涙を流しながらお姿を描かれました（左）。



【念仏禁止】（下段右）

お念仏の教えが弘まるにつれ、それまでの仏教諸宗との摩擦が起こるようになり、仏教諸宗から朝廷へ、念仏停止の申し出が奏上されるようになります。笏を持った公卿が、門前に奏上に訪れている様子が描かれています。

【公卿僉議】（下段左）

念仏停止の申し出を受けて、御所の仁寿殿で行われた僉議の様子が描かれています。

そして承元元年（二二〇七年）念仏停止が決定し、住蓮・安樂など四人が死罪、八人の流罪が決定します。源空聖人（法然聖人）は土佐国（実際には讃岐国）、親鸞聖人は越後国国府へ還俗（僧侶の身分の剥奪）の上、流罪となりました。

【師資遷謫】（上段）

承元元年旧暦三月、源空聖人が旅立たれるところ（上段左）と、親鸞聖人が旅立たれるところ（上段右）です。源空聖人七十五歳、聖人三十五歳、この日を最後にお二人はこの世で再会することはありませんでした。



【稲田興法】（下段）

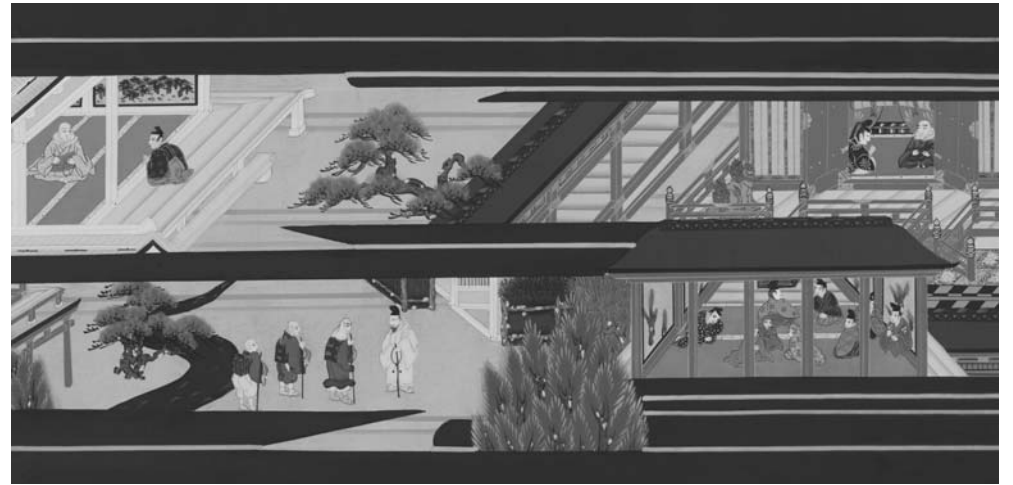
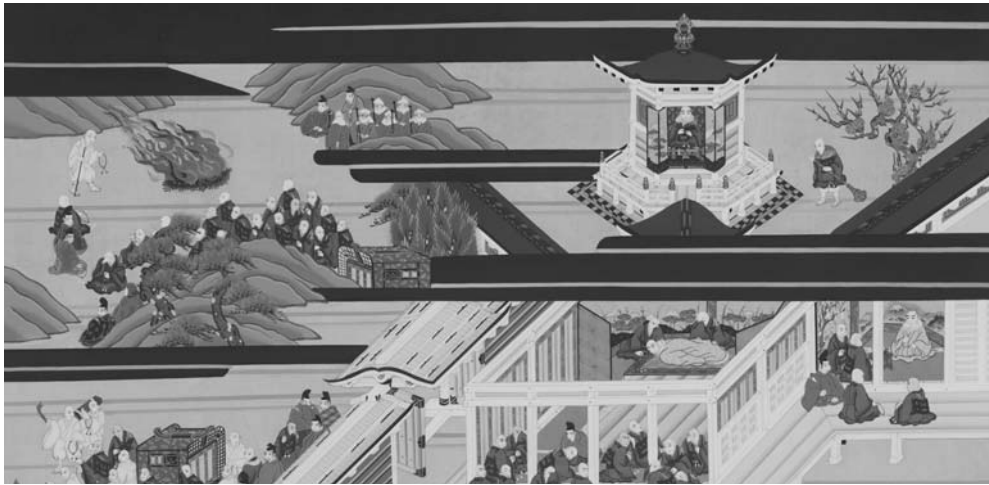
建暦元年（二二二年）、親鸞聖人三十九歳の時、流罪の赦免がくだされ、源空聖人（法然聖人）は赦免の翌年、京都で往生されます。

聖人の元にもご往生の事は伝えられたと考えられますが、京都へは戻られずに関東へ向かわれ（下段右）、やがて今の茨城県笠間市稲田に草庵を結ばれ、多くの人が参拝するようになります（下段左）。

【弁円濟度】（上段）

聖人の草庵に多くの人が参拝する様子を快く思わない山伏たちがあらわれ（上段右）、その中の弁円という山伏が、ついに聖人の命を奪わんと草庵に押しかけます。

しかし、聖人の立ち振る舞いをみて、弓矢を折り、刀を捨てて弟子になりたいと申し出て、聖人から明法房という名を授けられました（上段左）。



【箱根靈告】（下段左）

親鸞聖人が関東に住まわれてからおよそ二十年、聖人は京都へ帰られます。その道中、一行が箱根を通りかかったところ、烏帽子を被り衣を整えた箱根神社の宮司が出てきて、「箱根権現（神）が今夢に出てきて、尊敬している方が通るので、もてなしてほしいと願われたので出てまいりました」と、申し出てきます。一行と宮司が話をしているその様子が描かれています。

【熊野靈告】（下段右・上段）

茨城県水戸市飯富（旧大部）に、お念仏を喜ぶ平太郎という者が住んでいました。その平太郎に大部の領主が、和歌山県の熊野神社に参拝するように命じます。

平太郎は、念仏を申す者が、神社に参拝してもいいものかと心配になり、京都の聖人の元を訪ねます（上段左）。聖人は、「阿弥陀如来の誓いに身を任せる者としてお参りすれば、神様が軽んじることにはなりません」と言われ、平太郎はお念仏しながら熊野神社に参拝します。その夜、眠る平太郎の夢に（下段右）、正装した熊野権現（神）と聖人が夢に出てきます（上段右）。

【洛陽遷化】（下段・上段左）

親鸞聖人は、弘長二年（一二六二年）十一月の下旬体調を崩されます。それ以来、世俗のことは何も仰らずに、ただ阿弥陀如来のご恩と、お念仏が絶えることがなかったそうです（下段右）。

そして十一月二十八日、今の暦では一二六三年一月十六日のお昼頃、お釈迦様がお亡くなりになった時と同じように、頭を北にして右脇を下に、西を向いて往生されました（下段中央）。御年九十歳でした。

お弟子たちが茶毘の炎を囲み（上段左）、聖人を偲び、悲しみ涙にくれる様子が描かれています。

【廟堂創立】（上段右）

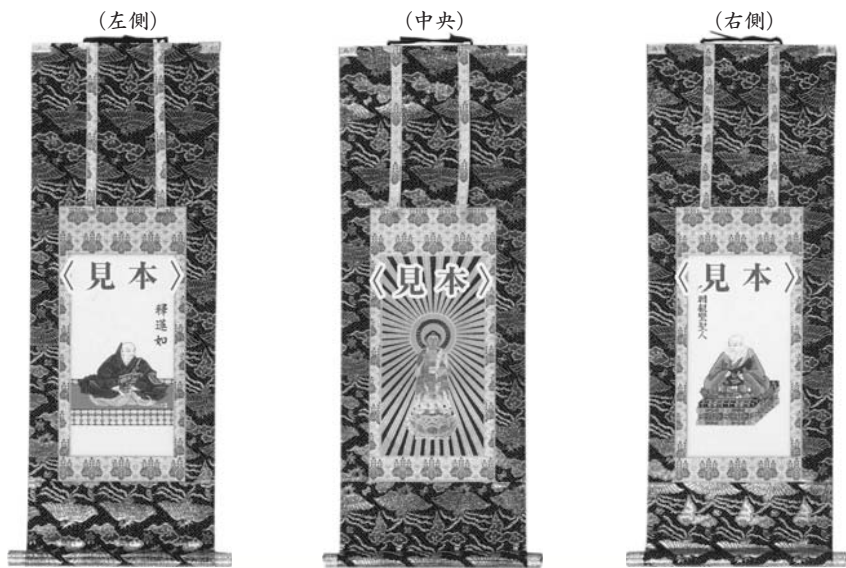
聖人がご往生されて十年後の文永九年（一二七二年）、京都東山の西側の麓、鳥部野の北、大谷にあった聖人のお墓を吉水の北、今の浄土宗知恩院の北あたりに改葬して、お堂を建てて親鸞聖人のありし日のお木像をご安置されました。

このお堂が本願寺の起源で、このお木像こそ今の御影堂にご安置されている御真影さまだと伝わっています。

阿弥陀如来さまと歩む生活を

～ご本尊は、本山本願寺から～

龍虎殿（参拝教化部）受付にてお迎えいただくことができます



蓮如上人
(蓮師)

御本尊
(阿弥陀如来)

親鸞聖人
(宗祖・祖師)

※上記写真の他に六字尊号（南無阿弥陀仏）、九字尊号（南無不可思議光如来）、十字尊号（婦命尽十方無礙光如来）がございます。

※大きさと表装の違いにより冥加金額が変わりますので、詳しくは参拝教化部（免物係）までお問い合わせください。



いちよう

高さ 24 cm
幅 19 cm
奥行 9 cm

冥加金
¥30,000

〈見本〉御絵像



きく

高さ 17.2 cm
幅 10.3 cm
奥行 2.9 cm

冥加金
¥20,000

〈見本〉六字尊号

▲持ち運び用の巾着が付属しています

※両方ともに御絵像と六字尊号がございます

参拝教化部

【御正忌報恩講法要期間中の帰敬式のご案内】

— 当日のお申し込みでも法名をいただくことができます —

一、時間

一月九日（火）～十五日（月）
午前の部 午前六時から（朝のおつとめ）に引き続き
午後の部 午後一時
一月十六日（火）
午後の部 午後一時三十分（午前の部は行われません）

二、受付（式は御影堂にて行われます）

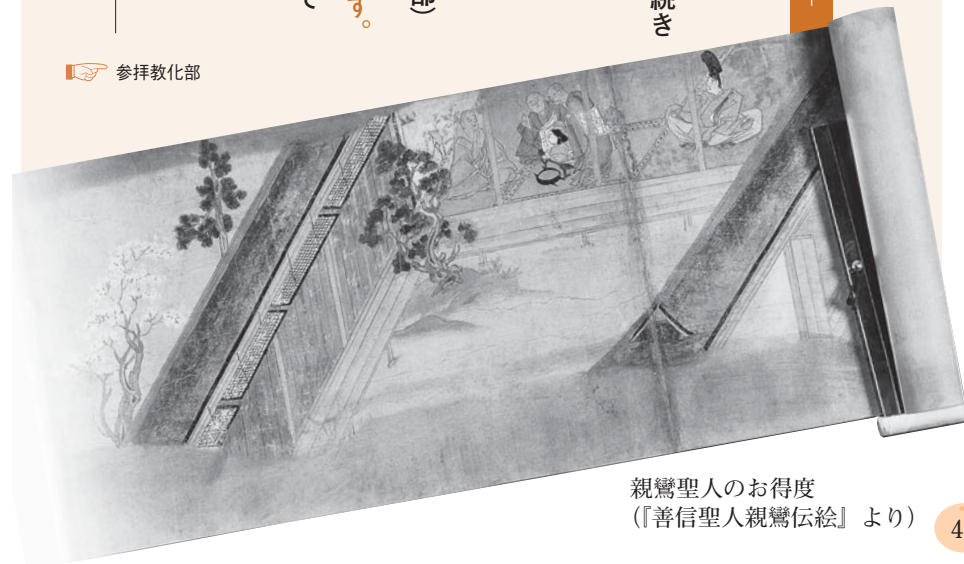
午前の部 前日または当日の開門後、龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。
※晨朝後、御影堂での受式希望も受付可能です。
午後の部 受式一時間前までに龍虎殿（参拝教化部）にてお申し込みください。

三、冥加金

成人 一万円（未成年 五千円）

※一月八日（月・祝）については、終日行われません。
※本人以外の受式は認められません。

参拝教化部



親鸞聖人のお得度
（『善信聖人親鸞伝絵』より）

Shinran's Day とは??

親鸞聖人は1173年5月21日にご誕生され、
1263年1月16日に90歳のご生涯を終えられました。
本願寺では、親鸞聖人のご命日である、毎月15日・16日に法要（お勤め）を行っています。

特に16日は、より多くの方にご参拝いただきたいとの思いから、
「Shinran's Day」とし、各種イベントを開催いたします。



皆様のご参拝を心からお待ちしています!!

参加無料♪
どなたでもご参拝ください!

Events 毎月16日 法要・イベントのご案内

※1月16日は御正忌報恩講法要中につき関連行事を開催しておりません。

法要（お勤め）

宗祖月忌法要

毎月15日：14時～14時40分頃（約40分）
毎月16日：10時～10時30分頃（約30分）

場所：御影堂

お経本（フリガナ有）
貸し出します!



法話（仏様のお話）

宗祖月忌法話

毎月16日：10時35分頃～10時55分頃
（約20分）

場所：御影堂

正座でなくても
大丈夫!



京の文化体験

※予約不要

書道・念珠作りなど
お茶所で文化体験をしてみませんか?

時間：9時～10時

場所：お茶所
（総合案内所）



参拝ツアー

お西さん号（貸切バス）で親鸞聖人
ゆかりの地を参拝しませんか?

- 日野誕生院
 - 角坊
 - 大谷本願
- をめぐるります。



宝書院特別案内

※撮影禁止

非公開文化財をご案内します!

受付：当日午前9時～午前10時30分まで

龍虎殿にて受付後、参拝証をお渡しします
ので、法要・法話（御影堂）にご参拝ください

時間：11時頃（法話終了後）～12時頃（約1時間）

対象：Shinran's Day 参拝者
（参拝証をお持ちの方のみ）



国宝 白書院
三之間
（孔雀之間）



国宝
鴻之間
（対面所）

門前町や御影堂門の
周辺で「いちろく市」
（フリーマーケット）を
開催します!!
9時～15時 ※雨天中止



日曜レクチャー〈日曜講演〉

様々な分野でご活躍されている方々のお話を聞いてみませんか?

午前10時30分：総会所（聞法会館1階）

入場無料・申込不要

1月28日（日）

阿弥陀堂天井画の修理について
—門徒としての思い—



宇佐美松鶴堂
代表取締役

宇佐美直八 師
うさみなおはち

弊社が西本願寺御前に居を構えたのは、江戸時代天明年間、創業200有余年になります。現在、ご本山の方々もなかなか目にすることが難しい阿弥陀堂天井画の修理を行っております。その修理にまつわるお話と、門徒の一人として門前町の取り組みのお話をいたします。

2月11日（日）

心理学に仏教が必要だと思える理由



精神科医
相愛大学客員教授

名越康文 師
なごしやすふみ

寄り添えない時代といわれて何十年が経つでしょうか。21世紀になり、ますます将来への不安が高まる中、仏教はかえってその教えの意味を確からしいものになっているように見えます。仏教が皆さまの心のともし火になるように、心理学を切り口に分かり易い説明を試みてみたいと思います。

3月4日（日）

シルクロード仏教への誘い



龍谷大学学長

入澤 崇 師
いりさわ たかし

かつて多くの民族が行き交ったシルクロードに仏教が行き渡りました。インド系、ギリシア系、ローマ系、イラン系そしてトルコ系といった各民族が仏教を受容したのです。「衆生の利益」という発想を基点に、仏教の持っている「国際性」に注目したいと思います。

3月25日（日）

日曜講演 de おてらくご〈第2回〉



落語家

露の団姫 師
つゆ まるご
雷門音助 師
かみなりもんおとすけ

2017年3月、大好評だった「日曜講演 de おてらくご」の第2回を開催いたします。天台僧でもある露の団姫師（上方落語協会所属）と龍谷大学落語研究会出身の雷門音助師（落語芸術協会所属）、東西若手二人の高座をお楽しみください。

お西さんを知ろう!

本願寺の僧侶「お西のお坊さん」が本願寺の境内をご案内いたします。どなたでもご自由にご参加いただけます。ご希望の方は、下記、開催時間までにお茶所にお越しください。

- 1回目 9時30分～
- 2回目 11時00分～
- 3回目 13時45分～
- 4回目 15時30分～

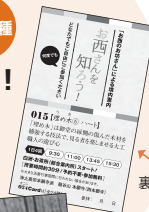
所要時間 約30分

参拝教化部

ご参加いただいた方には…

オニシ
024Card 全24種
1枚をプレゼント!

本願寺の建造物や埋め木など、見どころを紹介するオリジナルカードです。



どれがもらえるかはお楽しみ♪



大谷本廟

おおたにほんびょう

【親鸞聖人のご廟所】

京阪本線「清水五条」駅より徒歩約15分

京都東山五条の大谷本廟は、親鸞聖人をはじめ歴代(宗主)のご廟所(墓所)です。聖人のご廟である祖壇のお側に納骨させていただきたいという思いから、全国(門信徒)が納骨をされる場所として、毎日大勢の方々がご参拝され、香煙がたえません。

大谷本廟の総門(山門)をくぐると、正面に仏殿があります。その奥に、祖壇とその拝堂である明著堂があります。また、廟所の山側には広大な大谷墓地が広がり、聖人が火葬された御荼毘所があります。

大谷本廟は、今も昔も有縁の方々、納骨・永代経・墓参などをご縁としておみのりを聴聞される場所です。その由緒を大切にされる多くの皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

なお、大谷本廟では墓地・納骨所の交付を随時行っております。ご希望の方は、大谷本廟までお問い合わせください。

1月9日～16日の循環バス時刻表

	本願寺発	大谷本廟発
8	00	15
9	00	15
10	00	15
11	20	35
12	20	※35
13	00	※15
14	00	※15
15	00	※15
16	00	※15

(Aダイヤ)

※の時刻は、京都駅付近経由(下車のみ)

●交通事情により発車時刻を変更する場合があります。また、定員を超えての乗車はできません。予めご了承ください。

御正忌報恩講法要期間中、本願寺・大谷本廟間で循環バスを運行いたしております。上記時刻表をご参照のうえご利用ください。北境内地駐車場に乗降場所があります。



総門(山門)

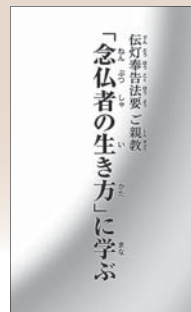
1月	総門	無量寿堂
開門(堂)	6:00	8:00
閉門(堂)	17:00	16:30
納骨・読経受付時間		
平日	9:00～15:30	
土・日・祝	8:30～15:30	

住所・電話番号
〒605-0846
京都市東山区五条橋東6丁目514
電話番号 (075) 531-4171(代)
FAX番号 (075) 531-2072
<http://otani-hombyo.hongwanji.or.jp>

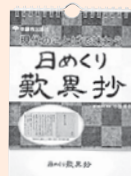
浄土真宗のみ教えに出会った私たちが、この現実世界でどのように生きていくようになるか。第25代専如ご門主が示されたご教示「念仏者の生き方」を学ぶための一冊。

新書判/48頁/本体 200円+税 50部以上2割引

伝灯奉告法要ご親教 「念仏者の生き方」に学ぶ



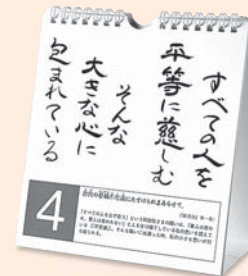
『歎異抄』とともに過ごす、法味あふれる日暮らし



浄土真宗の真髓が記された『歎異抄』。そのころを、独自の視点で31の言葉に書き下ろした。心の支えとなる言葉に毎日出遇える。
※16枚(31日分)綴。卓上または壁掛けカレンダーとして、場所を問わず使用できます。

壁掛け

縦210mm×横155mm/本体 1,000円+税



日めくり歎異抄

【著】小池 秀章 【書】白石 光祐

卓上

各寺院が所蔵する「御絵伝」を、オールカラーの美しいグラビア・関連年表・地図で解説。

絵物語 親鸞聖人御絵伝

— 絵で見るご生涯とご事蹟 —

監修:本願寺史料研究所委託研究員 岡村 喜史 編集:本願寺出版社
B5判/80頁/オールカラー/本体 1,000円+税



御正忌報恩講期間中(1/9～1/16)の本願寺ブックセンター営業時間 9:00～17:00
(1/15のみ)聞法会館1階特設ブースでの営業時間 14:30～22:00

本願寺出版社 0120-464-583 FAX 075-341-7753 発送梱包手数料別 (税込3,000円以上は無料)
〒600-8501京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺) <http://hongwanji-shuppan.com/>

【親鸞聖人ご誕生の地】

京阪・地下鉄・JR「六地藏」駅より京阪バス「日野誕生院前」



京都の東南にあり
ます日野誕生院は、
親鸞聖人のご誕生の
地であり、本願寺第
20代宗主広如上人
時代にご誕生の地を
顕彰して、お堂が建
立されたことに始ま
ります。

平安時代の様式に
よる堂内には、ご本尊
及び聖人の絵像、そして、聖人
上人御影像、そして、聖人
の父である日野有範卿の木
像がご安置されており、ま
た、境内には、聖人ご誕生の
際に使用されたと伝わる
「産湯の井戸」などがあり
ます。

日野誕生院

ひのたんじょういん

五月十九日には、聖人
六歳のお姿を写した「幼童の
御影」を奉懸し、「誕生会」
の法要をお勤めいたして
おります。

住所・電話番号

〒601-1417
京都市伏見区日野西大道町19
電話番号 (075) 575-2258
FAX番号 (075) 575-2241

【親鸞聖人ご往生の地】

地下鉄東西線「太秦天神川」駅より徒歩10分／京福嵐山本線「山ノ内」駅より徒歩10分



京都山ノ内にありま
す角坊は、親鸞聖人
が晩年のお住まいとさ
れた善法坊跡であり、
本願寺第20代宗主広如
上人時代に「聖人ご
往生の地」と定めら
れ、坊舎が建立された
ことに始まります。

角坊

すみのぼう

ご本尊がご安置されている還浄殿は
六間四面のひのき造りで、正面欄間には聖人
ご往生の様子が彫刻・装飾
されており、また、正面
の「還浄殿」の額は広如
上人のご染筆です。
親鸞聖人七百五十回大
遠忌事業の一環として大
規模な境内整備が行われ、
現在に至っており、六月
には「広如忌」の法要を
お勤めいたしております。

住所・電話番号

〒615-0091
京都市右京区山ノ内御堂殿町25番地
電話番号 (075) 841-8735
FAX番号 (075) 841-8736

領解文

りょうげもん
もろもろの雑行雑修自力のころをふりす
てて、一心に阿弥陀如来我等が今度の一大事の
後生御たすけ候へとたのみ申して候。たのむ
一念のとき往生一定御たすけ治定とぞんじ、
この上の称名は、御恩報謝とぞんじよろこび
申し候。この御ことわり聴聞申しわけ候事、
御開山聖人御出世の御恩、次第相承の善知識
のあさからざる御勸化の御恩と、ありがたく
ぞんじ候。
この上はさだめおかせらるる御おきて一期
をかぎり、まもり申すべく候。

報恩講の歌

作詞：日曜学校同人 黒瀬智円
作曲：野村成仁

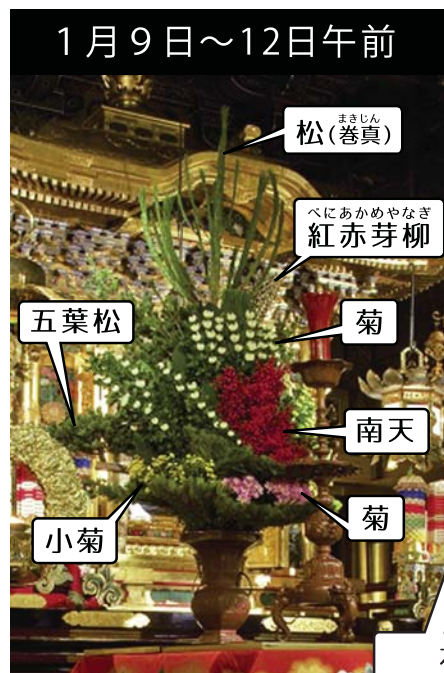
わかの浦曲の 片男波の
寄かけよせかけ 帰る如く
我世に繁く 通い来り
み仏の慈悲 つたえなまし
一人居ても 喜びなば
二人と思え 二人にして
喜ぶおりは 三人なるぞ
その一人こそ 親鸞なれ

御正忌報恩講法要期間中の

仏華と供物

2018(平成30)年

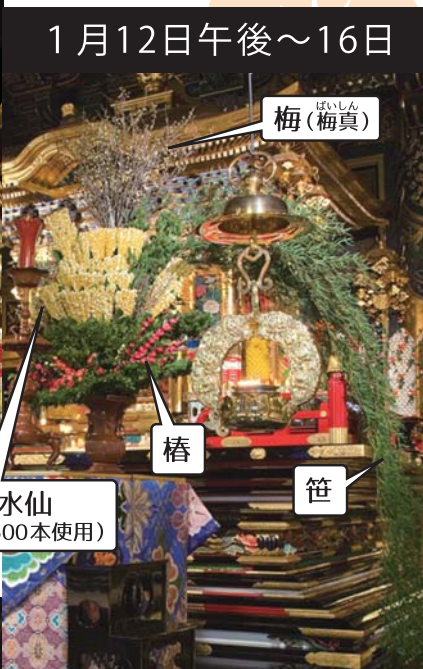
本願寺の法要行事日程



(御影堂)

阿弥陀堂は双華となっておりますので併せてご覧ください。

1月12日午後～16日



(御影堂)



御影堂須弥壇の供物

※本しおり表紙画はこちらを資料にして描かれました。

御正忌報恩講法要期間中、阿弥陀堂・御影堂間渡り廊下にて荘厳具・仏華・供物等を展示いたしておりますのでご参拝の折には、どうぞご覧ください。

元旦会・修正会	1月1日(月・祝)
御正忌報恩講法要	1月9日(火)～16日(火)
第66回本山成人式	1月14日(日)
春季彼岸会	3月18日(日)～24日(土)
恵信尼公750回忌法要	4月13日(金)・14日(土)
〈春の法要〉 立教開宗記念法要	4月15日(日)
大谷本廟総追悼法要	4月17日(火)・18日(水)
誕生会(日野誕生院宗祖降誕会)	5月19日(土)
宗祖降誕会	5月20日(日)・21日(月)
広如忌(角坊)	6月1日(金)・2日(土)
大谷本廟納骨・永代経法要	6月5日(火)～8日(金)
第23代宗主勝如上人17回忌法要	6月12日(火)～14日(木)
朝の法座(大谷本廟)	8月6日(月)～10日(金)
盂蘭盆会	8月14日(火)・15日(水)
戦没者追悼法要	8月15日(水)
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 (東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)	9月18日(火)
秋季彼岸会	9月20日(木)～26日(水)
龍谷会(大谷本廟報恩講法要)	10月15日(月)・16日(火)
〈秋の法要〉 全国門徒総追悼法要	11月22日(木)・23日(金・祝)
御煤払	12月20日(木)
除夜会	12月31日(月)

2018(平成30)年1月9日発行
編集・発行/参拝教化部 印刷/株式会社自照社出版

本願寺 全体図



の門から出入りできます。
(通常時)

本願寺 ↓ 大谷本願
循環バス乗降場所

間法会館
南側広場

■諸注意
防災センター【直通：075-371-5191】
 ・気分が悪くなったり、けがをされた時
 ・落し物を拾われた時、落し物をされた時
 ・不審者・不審物を発見された時
 最寄りの係員、または防災センターまでご連絡ください。

- = 車椅子対応施設
- = 車椅子対応エレベーター
- = オストメイト対応トイレ(多目的トイレ)
- = AED(自動体外式除細動器)設置場所
- = 授乳室
- = 喫煙所(北境内地に1ヶ所)
- = 喫茶・食事処

0 25 50m

※P.13・14に法要・行事等の詳細を記した境内案内図を掲載いたしておりますので、そちらも併せてご参照ください。